

Outline

Your challenge
creates
the future.

- ▶ 1) 関西創価のSGHプログラム
- ▶ 2) メインプログラムGRITについて
- ▶ 3) GRITの各教科への波及と仕掛け
- ▶ 4) SGHの成果とそれを示すエビデンス

関西創価のSGHプログラム

Your challenge creates the future.

研究開発構想名

TRY人(じん)の郷・交野から
平和の創造に挑戦する
グローバルリーダー育成プログラム



研究開発の概要



Your challenge
creates
the future.

Active Learningの土台の上に、国連が提起している**地球的課題**について探究し、**世界の平和に貢献**するグローバルリーダーとしての**使命感・共感力・問題解決への創造力**を育む教育活動を**高大連携**して開発する。



国連が提起する地球的課題 4つのテーマ



環境



開発

世界市民教育



人権



平和



関西創価SGHのプログラム



Your challenge
creates
the future.

【全校生徒1055名が対象】

① **GRIT** (Global Research and Inquiry Time)
(毎月2回登校する土曜日に行く、探求型総合学習プログラム)

② **GLOBAL CITIZENSHIP SEMINAR**

【希望者】

③ **SP** (Soka Progress Class) ▪ **UP** (University Partnership Class)

④ **Fieldwork** (国内: 広島・東京・東北 海外: アメリカ)

【選抜】

⑤ **LC** (Learning Cluster)

メインプログラムGRITについて

Your challenge creates the future.

GRIT1年

グローバルシューとの出会い 知識のインプット&ディスカッション

Your challenge
creates
the future.

環境



校内環境FW



アースカム

開発



貿易ゲーム



世界が50人の村だったら

人権



人権ポスターセッション

平和



沖縄の地上戦

課題探究と提言の作成



大学教授へのプレゼン発表



大学院生による
ブラッシュアップ



ポスター
セッション

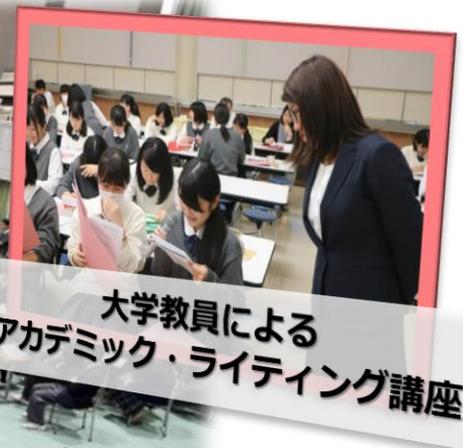
環境 = 開発 = 人権 = 平和

GRIT3年

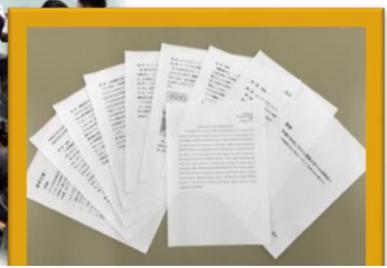
世界を一つにする力(合意形成)

Your challenge
creates
the future.

ゼロハンガーを目指す食料流通システムの構築



348人 92ヶ国で行う模擬国連



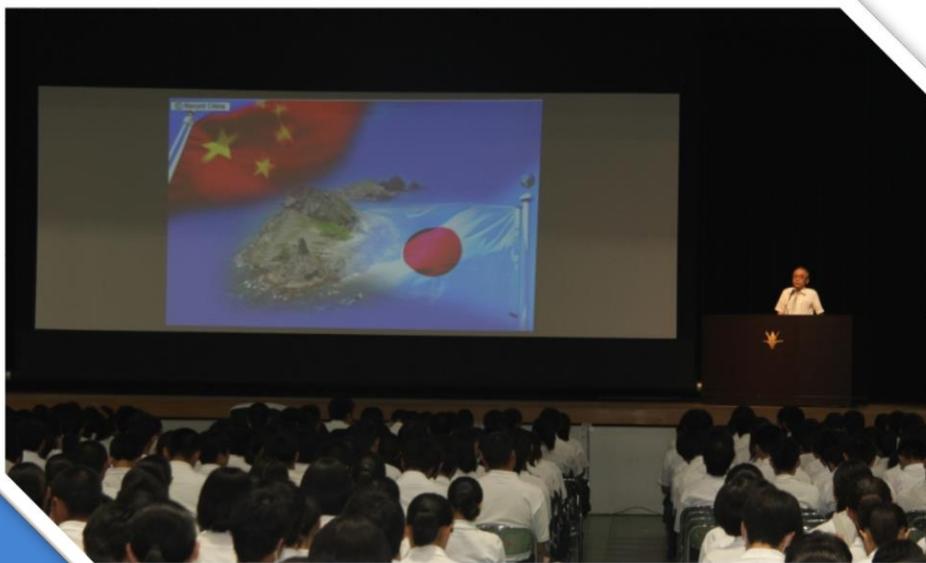
論文・英語サマリー作成

GRITの各教科への波及と仕掛け

Your challenge creates the future.

GLOBAL CITIZENSHIP SEMINAR

Your challenge
creates
the future.



元駐イラク・ノルウェー 大使
山口 寿男 教授



広島平和文化センター
小溝 泰義 理事長

SP

UP

希望者を対象
学校設定科目

SOKA Progress Class

- 平日の7時間目 海外大学進学用の英語・数学等
- LC希望の1年生はアドバンスドイングリッシュが必修！

University Partnership Class

- 「環境・開発・人権・平和」に関わる地球的課題を学ぶ基礎講座
- 毎週木曜日に大学・国際機関などから講師を招いて開講
- 学期末にはアメリカ創価大学教授による3日間の集中講座
- 単位を付与 ○GRITを推進し、さらにLCへつなぐもの

UP

大学教員・企業等から4分野について

Your challenge
creates
the future.

「すばる望遠鏡を知っていますか？」



国立天文台 ハワイ観測所
能丸 淳一准教授

「バナナから見た世界
～エクアドル共和国プリエイト
バナナ農園に学ぶ持続可能な開発～」



(株)タナカ・バナナ
登和麻 相談役

ヒロシマ フィールド ワーク



東京フィールドワーク 2グループ



東北フィールドワーク

海外FW

アメリカ(16名)



SUA教授との
ディスカッション



元国連事務次長 チョウドリ大使との
ディスカッション&プレゼン発表



核時代平和財団クリーガー会長との
ディスカッション&プレゼン発表



UCLAで学生
と交流

Learning Cluster

希望者から選抜

- 2・3年生の希望者から選抜（本年度は22名）
- 活動の全ては英語
- 昨年度は「気候変動」「核廃絶」について調査・研究



グローバルリーダーとして育む力

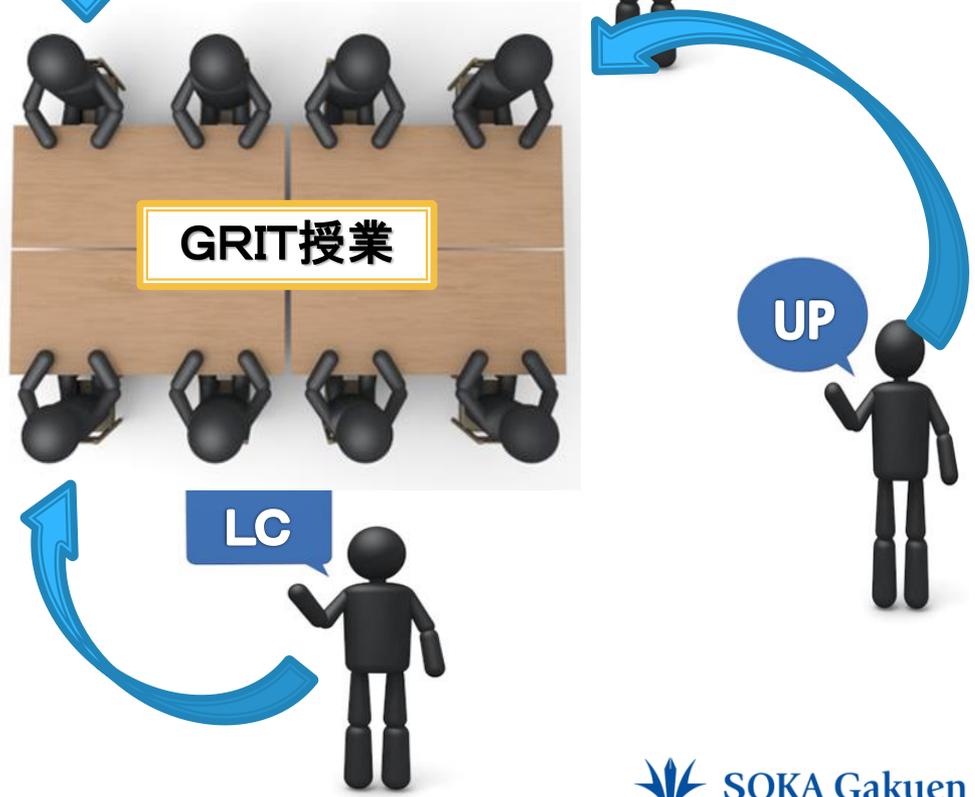
使命感 共感力 問題解決への創造力



FW

Your challenge creates the future.

様々な探究活動が発展!



各教科 横断のイメージ

GRIT

Your challenge
creates
the future.

現代文(アカデミックライティング)・・・論文作成

英語(サマリー作成・英語でのリサーチ)

環境

開発

人権

平和

生物・化学
保健・家庭科
地理

化学・物理
地理・倫理

情報科
ICT教育
1年次

倫理・
政治経済・
保健

日本史・
世界史・
倫理

各教科でGRITとしてカリキュラム化した内容

Your challenge
creates
the future.

地理: 1年次の授業の中で、GRITの基礎となるSDGsの学習を行う

現文: 1年次に言語技術的なアカデミックでロジカルな内容を、英語科と教科横断して行う

英語: 1年次に国語科と教科横断して、現文と同じような内容を英語で行う

生物: 1年次の授業でGRITの校内環境フィールドワークを行う

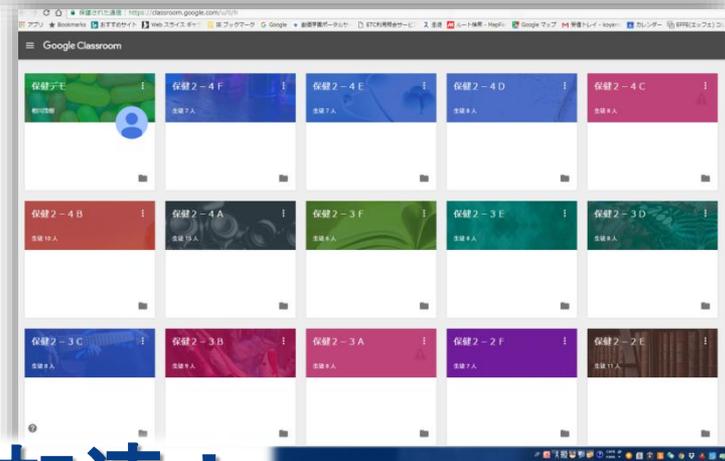
保健: 1, 2年次の授業でLGBTの話や乳児死亡率の問題、環境汚染の問題

政経: 高校3年次の模擬国連の担当国の政治・経済のリサーチ、模擬国連の論文作成

各教科: それぞれの教科でGRITに関する内容を掘り下げている

ICTを活用したAL

昨年度より全校生徒にタブレット配布！



協同作業・探究活動が一気に加速！

関西創価のSGHサポート ICTの加速

2006年 全教室にパソコン、プロジェクター設置

2011年 管理職に iPhone（校内携帯として）

2014年 管理職、希望教員に iPad 全教員に iPhone

生徒会、Learning Cluster生徒に iPad

GRIT+授業で iPad の貸出（班に1台）

2015年 全教員に iPad

2016年 高校2年生に 3学期から BYOD実験

2017年 全校生徒に タブレット配布

関西創価のSGHサポート 英語科の变革

海外大学30名合格・英検2級以上学年80%※SGH最終年度目標

選抜

LC

SGHプログラムLearning Cluster 24名程度(2・3年)
英語で「環境・開発・人権・平和」からコアなテーマを探究
Native等7名の教員 国内FW・海外FW(半数)で平和提言完成
1年間SPのAdvanced English受講した生徒に挑戦資格

希望者

SP

SGHプログラムSOKA Progress Class
「Advanced English」週に2回
1・2・3年生対象 海外大学を目指す生徒を対象に開講

全員

NativeとのTT
Active Learning

Native とのTeam teaching で All English を目指す
Active Learning で生徒自ら学ぶ英語を

SGHの成果とそれを示すエビデンス

Your challenge creates the future.

SGH校としての意識の高まり(高3)

「GRITやSGHの取り組みは考え方や行動に影響を与えた」 79.6%

「世界の平和に貢献したい」 88.2%

「将来、国際機関(国連など)にかかわる仕事がしたい」 30.2%

「意見の違う人の話や考え方を認める力が向上した」 83.7%

「困難なことも解決方法を探そうとする力が向上した」 80.9%

「大学を選ぶときに国際化に重点を置く大学への
進学を希望しますか。」 78.8%

「海外で通用する語学力は必要であると思います
か」 93.5%

SGH校としての行動の変化

自主的に社会貢献活動や自己研鑽活動に取り組む生徒数は

200人 → 750人

自主的に留学または海外研修に行く生徒数は

15人 → 30人

公的機関から表彰された生徒数、公益性の高い大会における入賞者

5人 → 92人

グローバルな社会またはビジネス課題に関する公益性の高い国内外

の大会に参加する生徒数 延べ1065人

SGHの成果(世界大会) 2017年度

Your challenge
creates
the future.



「世界津波の日」
高校サミットin沖縄



CIF: 日米露3国の
高校生による核不拡散
教育会議



世界中高生中国語
コンテスト
世界大会出場

SGHを通して世界が身近に

英検の申し込みは長蛇の列！

Your challenge
creates
the future.



毎回の英検受験に全校生徒の約半数が受験！



英語技能検定合格者数 (1次含む)

1年目

1級1名 準1級10名 2級175名

1069名

2年目

1級6名 準1級46名 2級325名

1066名

3年目

1級8名 準1級48名 2級389名

1052名

Q. GRITを受けて「どういう気持ちの変化があったのか」また、それに伴い「自分の行動がどう変わったか」ということをお教えてください。【高3】

GRITで地球環境の問題を知り、ワールドニュースなどを積極的に観るようになった。

節電や節水、リサイクルをするようになった。

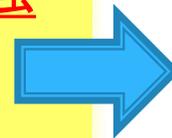
フェアトレードの商品を買うようになった。

ISISなどテロに対しても、その人たちの気持ちや背景を学びたいと思いリサーチした。

戦争や紛争についてももっと深く学びたいと思い、資料館などへ足を運んだ。

GRITで行った世界のトイレ不足のリサーチをもとに、認知度を上げるためのTwitterアカウントを作成し、SNSで現状を発信した。

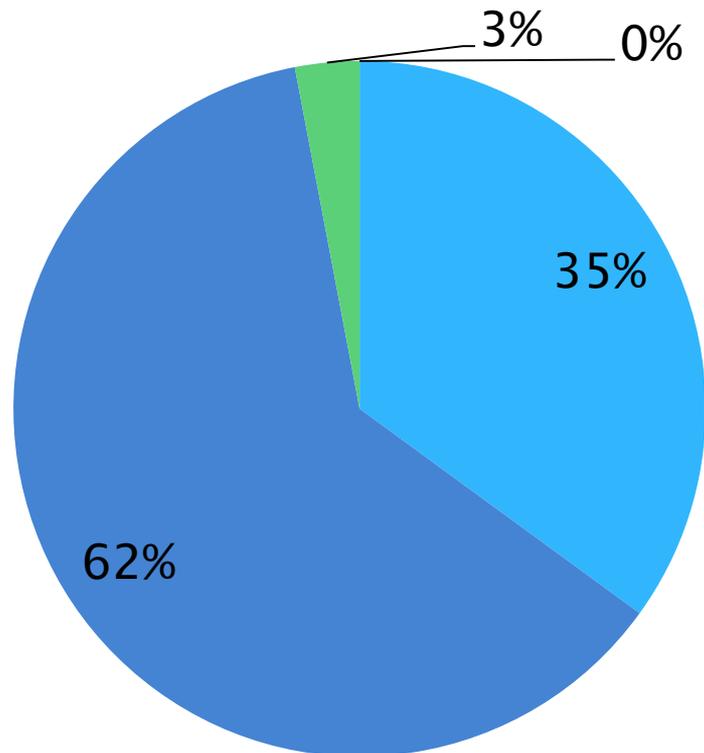
将来平和活動に参加できるように、英語の勉強を始めた。



教員の意識(アンケート結果)

Your challenge
creates
the future.

Q. あなたは教員として本校のSGHプログラムに協力的でしたか



協力的 97%

- 大変に協力的
- 協力的
- あまり協力的でない
- 全然協力的でない



Q. GRITを受ける生徒を見て「**どういう気持ちの変化があったのか**」また、それに伴い「**自分の行動がどう変わったか**」ということをお教えください

(教員)

▶ 生徒たちが世界市民として成長しようとするのを見て、**自分自身もグローバル 이슈などについて学ぶようになった。**

▶ 授業に対して、生徒の意識、視点、主体性などが鋭くなっていることを感じており、**授業内容の充実や生徒のモチベーションを上げるための工夫を**考えながら、授業準備、アドバイス等を更に意識してするようになった。

受験クラスの生徒から驚きの声



受験のための勉強は
自分でもできる！
何のために学ぶのか？
出来事の背景には何があ
るのかを教えてください！

海外大学への進学者の増加

SGH指定後の主な海外大学合格先

- Wellesley College
(全米教養学部3位)
- Grinnell college
(4年制大学教育制度4位)
- Smith College
(全米教養学部12位)
- Colby College
(全米教養学部12位)
- Soka University of America
(全米教養学部39位)
- North Central College
- ISI国際学院北京大学(医学部)

毎年十数名が海外大学へ進学！

昨年度は海外大学に14名が進学予定！

事業終了後の構想

- ・ **カリキュラムマネジメント、高大接続**教育をより推進
課題探究学習を各教科に広く展開しカリキュラム化

関西創価**独自の世界市民教育プログラム**開発を目指す
- ・ フィールドワークを継続的に実施⇒**全校への展開、波及**
関係教育機関、地方公共団体との**支援組織作り**
- ・ **ユネスコスクール**としてさらに**ESDやSDGs**を意識した取り組み